

# 大きな可能性を秘める仮想通貨

## ～銀行の立場を脅かす仮想通貨。その機能にみる利便性と将来～

6月10日の朝日新聞1面に、非常に興味深い記事が掲載されていた。メガバンクの三菱東京UFJ銀行が来秋にも仮想通貨を発行するのだという。銀行が仮想通貨を発行することの賛否はこれから問われることになるが、大銀行が自ら仮想通貨を発行する計画を持つ背景にはその存在が無視できなくなってきたことの証なのだろう。

そもそも仮想通貨とはどういうものなのか。細かい説明は省略するが、一般的な通貨(円やドル等)が国家等によるその価値を保証されているのに対し、仮想通貨は「その存在自体への信用」によって価値が保証されている。よって利用者の少ない(取引量の少ない)仮想通貨であれば当然その価値も低くなっていくが、世界中で取引されるような仮想通貨であれば利用者相互によりその信用度は高められ、またその価値も高くなる。有名などころでは「ビットコイン」などがある。なぜ今、仮想通貨が注目されているのだろうか。ここではビットコインを例に説明す

る。例えば、私が南米ブラジルにいる相手へ送金するとしよう。通常の外国送金であれば銀行が仲介して円をブラジルの通貨であるレアルに換金し、ブラジルにある相手の口座に入金される。銀行が仲介するので当然手数料もかかる。しかし、ビットコインであれば私から相手へ、財布の中の現金を手渡すように、直接送金することが可能となる。仲介者も存在しないので当然、送金に係る手数料も格安、または無料だ。決済のスピードも早い。これは個人間での資金決済手段において革命的な変化をもたらした。安全面での課題はあるものの、ビットコインを保有しているもの同士であれば世界中、どこにいてもすぐに送金が出来る上、共通の通貨単位による決済が可能なので為替の変動を受けることも無い。

つまり「もはや銀行は必要ない」というわけだ。今は当たり前前に「円」で行われている消費者金融だが、今後は「円で融資、返済はビットコインで」、あるいは「ビットコイン

で融資、金利はビットコインの相場に応じた連動制」といった商品が登場する日もそう遠くはないのかもしれない。

日本ファイナンス有限会社  
下関店 店長  
松原 剛

AFP(日本FP協会認定)  
TEL083-234-3544

<http://nihon-finance.com>

借金で苦しむ人への的確なアドバイスで定評がある、消費者金融のプロフェッショナル。弁護士の人脈、債務カウンセリング、真摯に相談に乗る姿勢が認められ、感謝の声が多数寄せられている。ラジオなどのメディア出演を通して、借財に対する正しい認識を広めている。

